

**製品名: NRAS ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21470**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:22kD;Observed MW:22kD

**抗原情報**

遺伝子名	NRAS
別名	HRAS1
遺伝子 ID	4893.0
SwissProt ID	P01111
免疫原	ヒト RAS の合成ペプチド

**背景**

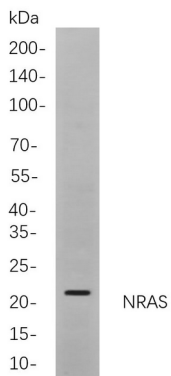
細胞局在：膜。これは N-ras がん遺伝子であり、ゴルジ体と細胞膜の間を往復する膜タンパク質をコードする。この往復は、ZDHHC9-GOLGA7 複合体によるパルミトイル化および脱パルミトイル化を介して制御される。コードされているタンパク質は固

有の GTPase 活性を有し、グアニンヌクレオチド交換因子によって活性化され、GTPase 活性化タンパク質によって不活性化される。この遺伝子の変異は、体細胞性直腸がん、濾胞性甲状腺がん、自己免疫性リンパ増殖症候群、ヌーナン症候群、および若年性骨髄単球性白血病と関連付けられている。[RefSeq 提供、2011 年 6 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



NRAS ウサギ mAb を用いた 3T3-L1 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。